

くるすやまみなみちゅうせいぼぐんちょうさ
栗栖山南中世墓群の調査



1998.8.8



(財)大阪府文化財調査研究センター

栗栖山南中世墓群について

くるすやまみなみちゅうせいぼぐんについて

栗栖山南中世墓群は茨木市佐保字クルスに所在し、国際文化公園都市造成に先立ち発掘調査を進めています。発掘調査で約350基に及ぶ大規模な室町時代から戦国時代（14～16世紀）に造られた中世墓群が明らかになりました。これほど大規模な墓群が発掘されたのは珍しく、貴重なものです。調査地は地元の方々から「元墓」と呼ばれており、調査以前から石仏の一部が見え、まつられていきました。昭和43年には茨木市教育委員会により一部発掘調査が行われており、石仏や五輪塔などが確認されていました。

調査でわかったこと

ちょうさでわかったこと

○お墓はどんな場所に造っているの？ 尾根斜面を等高線に沿って雛壇状にし、その南側には平坦地を造って、お墓は帯状に列をなして並んでいます。

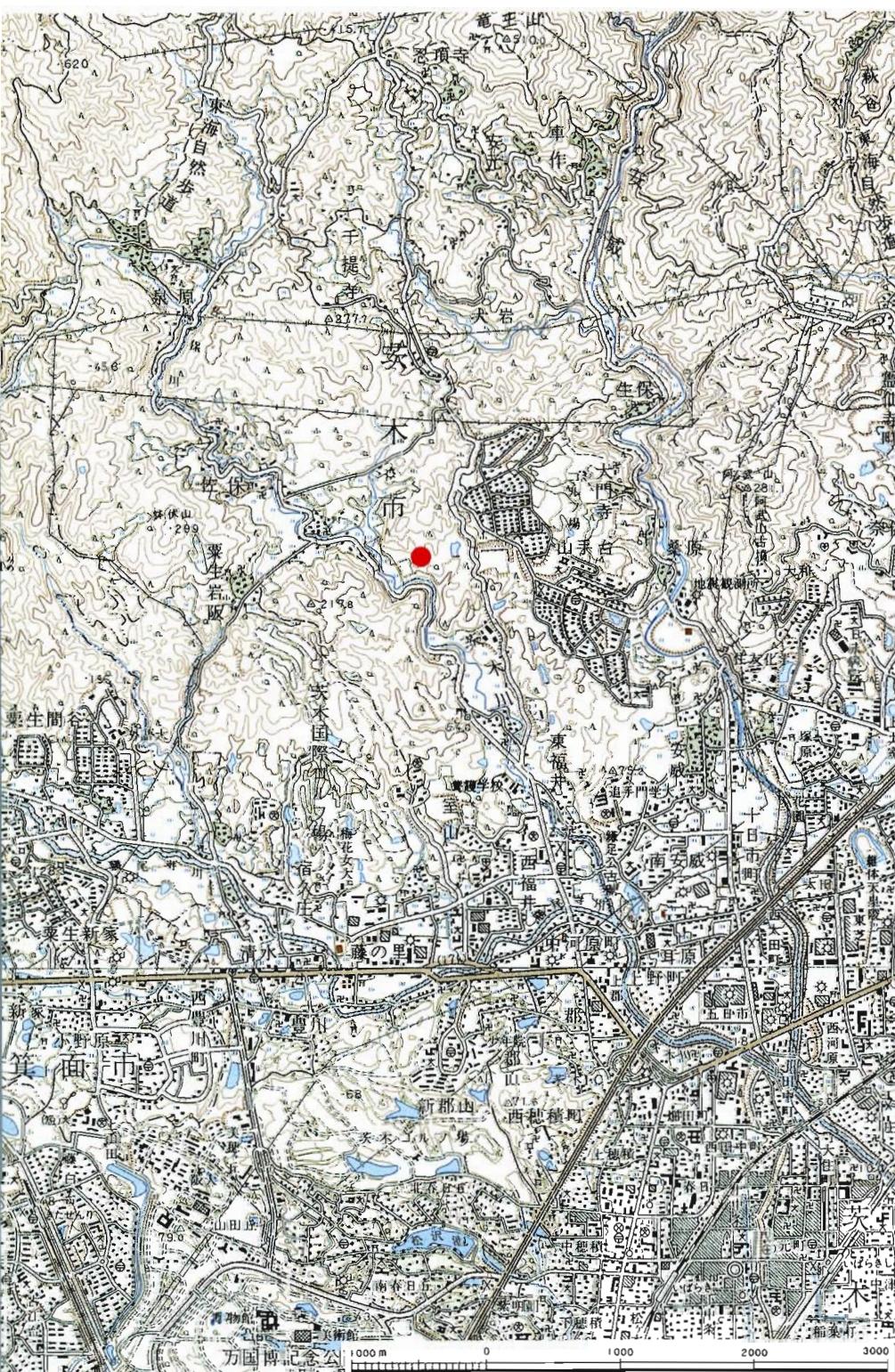
○お墓の形は？ 石を縁石として四角形や円形に組み、その中に石仏や五輪塔を置いています。石仏や五輪塔の地輪が当時の姿のまま発掘され、

どのように設置されていたのかがわかつたことは重要な成果です。また、隣同士の石組みがつながっているお墓もあり、夫婦や一族のものと思われ、その絆を感じさせます。

○死者はどのように埋葬されていたの？

火葬されました。14号墓は石組を取り外すとその下から壁が焼けた穴があり、この場所で火葬されていたことがわかりました。平坦地では共同火葬場と思われる穴がみつかりました。周辺には炭が多量に捨てられ、盛り上がりいました。焼けた骨、鉄釘、古銭が混じっていました。

○誰のお墓？ 石仏や五輪塔には年号や名前などの文字がなく、また、この墓地にかかわる文書も残っていませんが、近辺集落の人々の墓と考えられます。



くるすやま栗栖山南中世墓群の位置

（国土地理院1/50,000「京都西南部」

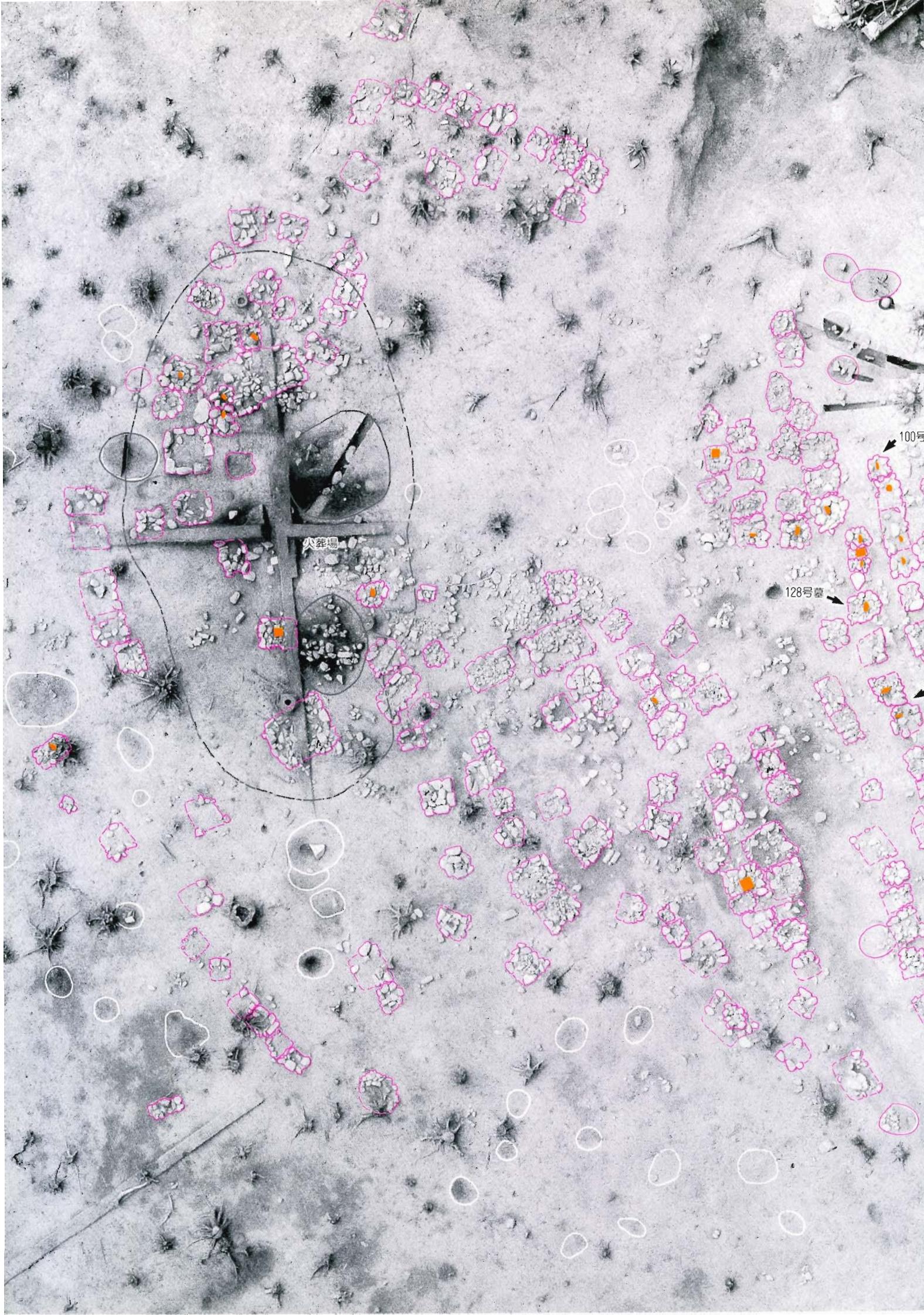
「大阪東北部」平成5年を使用）



▼栗栖山南中世墓群（北西から）
斜面を雑壇に造成し、お墓が列を成して並んでいます。
写真右奥の平坦地にいくほど密集しています。

▲空からみた栗栖山南中世墓群（南から）
尾根の中腹から南側の平坦地にかけて
墓地が広がっています。

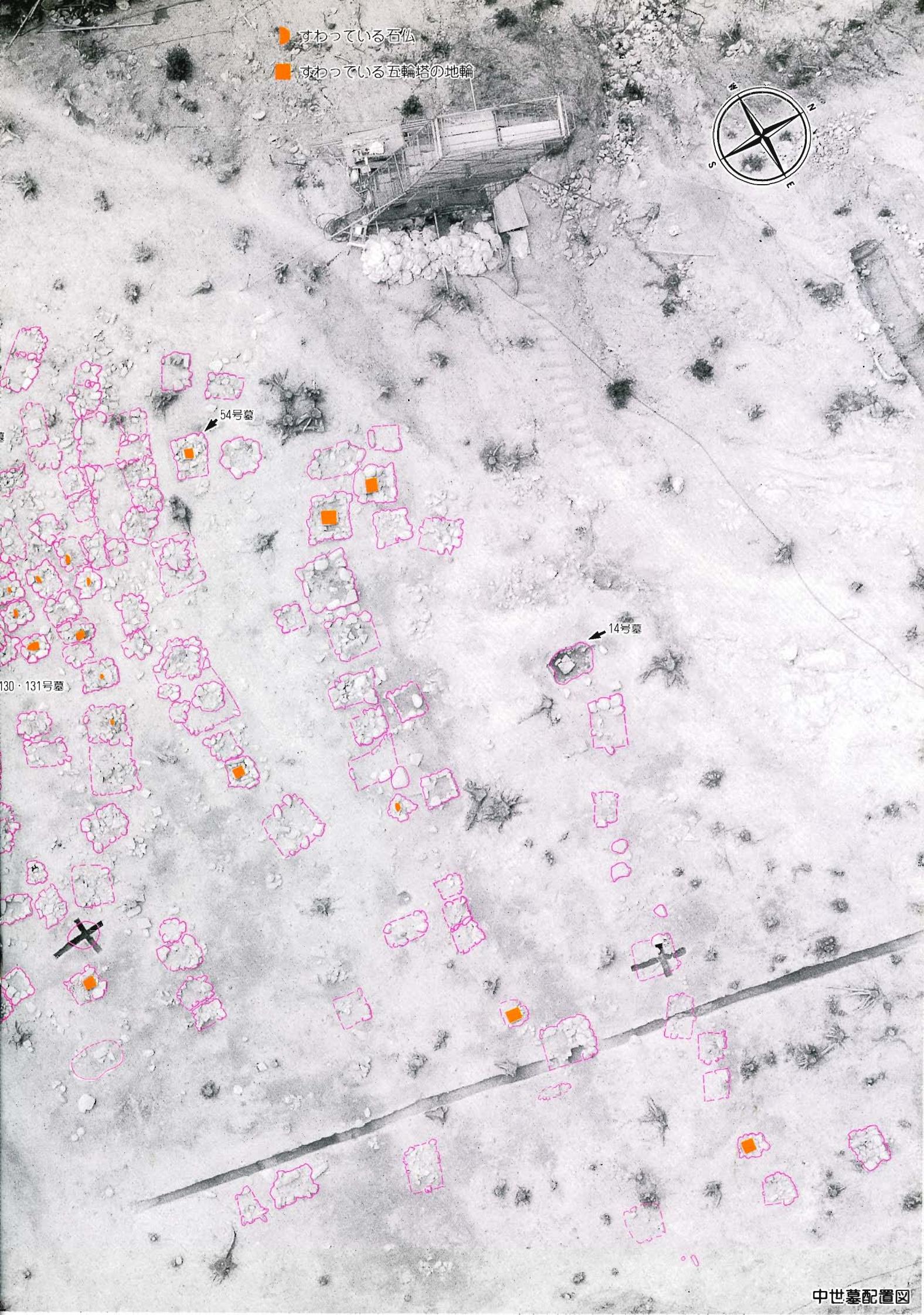




火葬場

100号

128号墓





◀130・131号墓（北から）

一对の石組それに石仏が立っており、
向かいあっています。夫婦墓でしょうか。



五輪塔

密教において創り始められた塔の形をしたもので、宇宙の構成要素である地・水・火・空・風の5つの元素を表しています。

五輪塔各部名称



▲100号墓（南西から）

円形に組んだ石組の中に石仏が立っていました。
この石仏の下部には蓮の花が刻まれています。



▼54号墓（南西から）

四角形に組んだ石組の中に五輪塔の地輪
が設置されました。その上には水輪、
火輪、風空輪が組んであったことでしょう。



▶128号墓（南西から）

組まれている石の中には川べりからわざわざ運びあげてきた丸い石もみられます。

▼14号墓（南から）

石組が四角形に組んであります。中心には小さな石が敷いてあり、その上には五輪塔か石仏が置いてあったと思われます。



▲14号墓（左写真の石組の下）

石組を取り除くと壁が焼けた穴がみつかりました。ここで死者を火葬したようです。底には上面が扁平な石が置いてあり、棺を置いた台と考えられます。この石も焼けています。骨、鉄釘、温石が出土しました。



▲温石（おんじやく）

石を焼いて布などに包んで、冬の寒さや病気の際にカイロのように体を温めるものです。滑石という柔らかい石でできており、紐を通す穴があいています。



▲釘（くぎ）

火葬場から出土した釘はほとんど鋲びていません。現代の釘のように丸くなく、四角で頭を折り曲げてつくっています。



◀火葬場（南から）

約15m四方に炭が散乱し、盛り上がっていました。中に大きな穴があり、ここで何度も死者を火葬し、その後に灰を掻き出したためでしょう。焼けた骨、古銭、鉄釘が出土しました。



▲馬場共同墓地（北西から）

今回の調査以前に移転した石造物です。

▲栗栖山遺跡遠景（北東から）

左側に栗栖山南中世墓群、中央に
栗栖山砦跡、右奥に馬場の集落が
みえます。



昭和43年調査風景（免山篤氏提供）▶

雑木林の中での夏の調査でした。

石仏が横に並んで出土しています。

栗栖山南中世墓群の調査 栗栖山砦跡他現地説明会資料

発行 (財)大阪府文化財調査研究センター

〒536-0016 大阪市城東区蒲生2-11-3 小森ビル4階 ☎06(934)6651

発行日 1998年8月8日

印刷 (株)中島弘文堂印刷所